



## 豊かな暮らしを支える取り組み

### 子どもたちに食農教育を



女性部は食農教育を全地域で行い、次代を担う子どもたちに、農の大切さや地元農畜産物の豊かさを伝えています。

### 「知多半島・花半島」の展開



組合員への花苗の配布や花の植栽などの花いっぱい運動やフラワーフェスティバルを開催し、「知多半島・花半島」の取り組みを展開しています。

### 農業体験付「定期貯金」



当JA独自商品の農業体験付き定期貯金を販売しています。契約者は、農業体験を通じて家族ぐるみで地域農業への理解を深めています。

### 地元産のお米を提供



地元産のお米のおいしさを知ってもらうため、知多半島内の小中学校に、地元産100%のお米を提供しています。

### 地域に開かれた高齢者福祉事業



5カ所の高齢者福祉施設では、高齢者の自立支援、家庭介護の負担軽減をはかるとともに、近隣住民も参加できるイベントを開催し、地域に開かれた事業を展開しています。

### 組合員の健康管理



知多厚生病院と連携し、人間ドックや健康セミナーの開催など、組合員の健康管理活動を進めています。

### 「農のある風景」図画コンクール



「知多半島 農のある風景」図画コンクールを実施し、子どもたちに地元農業への関心と、緑あふれるふるさとの大切さを考える機会を提供しています。

### ふれあい農園で「農」を体験



21カ所1,459区画のふれあい農園では、利用者が家族ぐるみで「農」とのふれあい、収穫の喜び、利用者同士の交流を楽しんでいます。

### スポーツ大会で地域を元気に



「少年野球・サッカー大会」、「ソフトバレーボール大会」、「健康ウォーキング大会」などのスポーツ大会を開催し、健康づくりと地域の活性化を進めています。

## 農業・農家を支える取り組み

### 独自肥料で農家支援



知多半島の土壌に合った当JA独自の成分配合、軽量化肥料を提供し、資材コスト低減と高齢者の労力軽減を図っています。

### 買い取り販売で地産地消を拡大



農家から買い取った農産物は量販店へ直接納品しています。また管内の学校給食への直納販売も取扱い、地産地消の拡大を図っています。

### 米の全量買い取り販売への転換



米の販売は、全量買い取り販売による一括支払いに転換します。JAへの集荷量が拡大し、有利販売につなげることで、農業所得のさらなる増大を目指します。

### 農業講座で担い手育成



半田農業高校と連携して、農業講座を開講し、多彩な担い手を育成しています。

### 新規就農者を支援



各営農センターでは、就農相談から研修先農家の紹介、各種助成金の申請手続き、独立後の栽培・販売指導までを地域と一体となって行う体制を整えています。

### 機械化による生産拡大



当JA設立の㈱JAファームちたと連携し、作業の省力化と規模拡大を図るため、機械化による農業生産の拡大をすすめています。

### 生産規模拡大農家に農機具助成金



生産規模拡大に取り組む農家の農機具購入に際し助成金を提供し、農家の負担軽減と生産拡大の支援に取り組みました（JA愛知信連と合わせて1億円を助成）。

### 産直施設で農家収入確保



子会社の㈱げんきの郷と11カ所のJA直営産直施設を運営し、農家手取りの確保と小規模農家の売り場づくりを図っています。

# JAあいち知多の取り組み

農業振興と地域の活性化に向けた

JAあいち知多では「農業を基軸とした協同活動を通じて、地域の人々とともに心豊かで健康な暮らしと地域社会づくりに貢献します」という基本理念の実現をめざし、従来から地域農業の振興と、地域社会の活性化に取り組みしてきました。

これらの取り組みは、今全国のJAグループがすすめる「JAの自己改革」の3つの基本目標「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に対応した内容となっています。

ここではJAあいち知多の主な取り組みを紹介します。

### 作業受託と全量買い取り契約



生産者の労力軽減で作付面積の拡大を図り、キャベツ・タマネギの収穫・出荷作業の受託と全量買い取り契約によって生産者の安定収入の確保に取り組んでいます。

〈表紙・農と暮らし/7月〉 梅雨が明けて、青空が毎日続くようになったので、梅の土干しをします。夏の日差しに当てると、水分が飛んでやわらかくなり、色鮮やかに仕上がります。お日様の力がおいしい梅干しを作ってくれるんですね。イラスト/茶畑和也